

令和3年度

事業報告

令和3年度は、前年度に引き続き、交通信号施設工事に関する諸問題を調査研究し、交通信号施設工事に係る施工技術の向上及び経営の合理化の促進を図るため、

- 調査研究事業
- 普及事業
- 技能検定事業
- 技術講習事業
- その他この法人の目的を達成するために必要な事業について実施した。

## 1 業務運営に関する主な行事

主な行事は、次のとおりである。

(1) 監事監査 令和3年4月12日(月)

(2) 定時総会 令和3年6月11日(金)

開催方式：出席者を限定し、定款第19条による「書面表決等」により実施

審議事項：令和2年度事業報告及び決算報告並びに監査報告に関する件外2件

(3) 理事会

審議事項

(第1回) 令和3年5月14日(金)：集合及びオンラインにより実施

・令和3年度定時総会の開催に関する件外5件

(第2回) 令和3年6月11日(金)：集合及びオンラインにより実施

・代表理事の選定に関する件外2件

(第3回) 令和3年11月5日(金)：集合及びオンラインにより実施

・令和4年度技能検定事業に係る基本方針に関する件外1件

(第4回) 令和4年3月3日(木)：集合及びオンラインにより実施

・令和4年度事業計画及び収支予算に関する件外4件

(4) 委員会

ア 総務委員会

協会における事業計画に係る課題の推進、定款、規程等改正に伴う検討及び各委員会の取組状況の報告により確認・調整を図った。

委員会は、Zoom使用によるオンライン方式で実施した。

イ 広報委員会

当協会ホームページの効果的運営、広報誌発行、情報収集活動、会員募集活動を推進した。

ウ 防災対応委員会

三重県で開催された管区警察局広域緊急援助隊合同訓練に協力した。これにより三

重県警察から感謝状が贈呈された。

{詳細は、2「事業の概要」(5)ウ項「広域緊急援助隊合同訓練に協力」に記載}

#### エ 技能検定委員会

技能検定試験は、全国7都市で新制度による新技能検定試験を実施した。ただし、東京会場は、新型コロナウイルスの緊急事態宣言発令により中止した。

{詳細は、2「事業の概要」(3)技能検定事業 ア項「技能検定試験の実施」及びイ項「旧資格から新資格への移行講習の実施」に記載}

#### オ 近畿地区委員会の開催

南海トラフ地震等による極めて広域かつ甚大な被害の発生が予想されているため、より広域的な防災協定等について検討することを目的に、近畿地区委員会を設置することとし、12月15日に第1回のオンライン会議を実施した。

## 2 事業の概要

### (1) 調査研究事業

ア 政府が推進する「交通信号機を活用した5Gネットワークの構築」の取組みに協力  
令和3年度に東京、大阪及び秋田において大規模実証実験が実施されることになり、同実験が円滑に実施されるよう対象信号柱の強度検討に協力すると共に、実証実験用設備の設計協力、工事施工に際しての助言、施工業者の紹介等を行った。

また、『交通信号機を活用した5Gネットワークの構築検討委員会』の下に設置された『交通管制・制度検討会』、『社会実装WG』及び『交通管制WG』に正式に委員として参加した。

#### イ 交通信号用可搬型LPガス発電設備のあり方に関する検討

災害等により滅灯した信号機の仮復旧用として使用可能な可搬型LPガス発電設備のあり方について、技術委員会の下に部会を設けて検討を行った。

### (2) 普及事業

#### ア 当協会が認定する技能検定資格の都道府県警察における活用の拡大

当協会が認定する技能検定資格が、交通信号施設関係業務の受注者や交通信号柱への5G基地局設置業務に従事する者に求める資格として活用されるよう、都道府県警察にお願い文書を送付した。

#### イ 「電気と工事」の特集記事による当協会の広報

月刊誌「電気と工事」11月号の特集記事として「交通信号機の電気工事」を投稿し、当協会の活動や技能検定資格のPRを実施した。

#### ウ 交通信号工事に関わる図書の販売の推進と編纂作業の推進

「交通信号工事設計ハンドブック」等の販売を推進し、あわせて「交通信号工事安全必携」の改訂作業を行った。

#### エ 防災対応要綱第7条経営事項審査における確認書類の交付

申請のあった10社に確認書類を交付した。

### (3) 技能検定事業

技能検定委員会の下に「試験問題部会」、「試験実施部会」及び「移行講習部会」の三つの部会を設けて取り組んだ。

#### ア 技能検定試験の実施

令和3年7月18日（日）に全国7都市（札幌市、仙台市、金沢市、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市）で新制度による初めての技能検定試験を実施した。

また、令和3年度から、協会ホームページに試験問題を掲載し、あわせて受験者に合否通知をする際に点数も通知することにした。

東京会場は、直前に新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発出されたため、急遽中止した。

受験者及び合格者数は、次表のとおりである。

資格名	受験者数	合格者数	合格率 (%)
交通信号技士	47	25	53
交通信号工事士	61	49	80
交通信号設計士	2	2	100
交通信号監理士	13	12	92
交通信号診断士	39	37	95
計	162	125	77

#### イ 旧資格から新資格への移行講習の実施

「交通信号工事士」への移行講習を9月に、「交通信号設計士」、「交通信号監理士」及び「交通信号診断士」への移行講習を10月に実施した。

資格別の実施日、実施回数、受講者数、令和3年度末の新資格保有者数（新資格試験の合格者と資格移行終了者の合計）は、次表のとおりである。

資格名	実施日	実施回数	受講者数	新資格保有者数
交通信号技士	—	—	—	2,571
交通信号工事士	9月7日～9月11日	6	228	458
交通信号設計士	10月5日、6日	2	42	44
交通信号監理士	10月7日、8日	2	76	88
交通信号診断士	10月13日、14日	2	71	108

### (4) 技術講習事業

今後、交通信号柱に4G、5Gの無線装置が設置され、交通管制用として無線通信回線の利用が進むと予想されることから、第二級陸上特殊無線技士受験対策用eラーニング講座を8月23日から約2か月間開講した。

そして、52人が受講し、39人が受講終了直後の「二陸特」国家試験に合格した。

(5) その他この法人の目的を達成するための事業

ア 広報活動

(ア) 広報誌発行

全信工ニュース第28号を令和3年12月6日に発行し、都道府県警察等行政機関には郵送し、会員にはメーリングリストにより配布し、あわせてホームページに掲載した。

(イ) 会員募集活動の推進

理事長、各理事及び広報委員会が中心となり、入会を勧めた結果6社新規入会した。一方、退会は2社あり、年度末における会員数は205社となった。

イ 交通信号工事甲子園の開催

交通信号工事の技術向上、新技術の取得、新人教育、信号工事工法の標準化を目的として技術競技会を計画したが、今年度は、新型コロナウイルスの影響により中止した。

ウ 広域緊急援助隊合同訓練に協力

三重県で実施された中部管区警察局広域緊急援助隊合同訓練に協力した。

なお、近畿管区警察局広域緊急援助隊合同訓練及び北海道・東北管区警察局広域緊急援助隊合同訓練についても協力を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により訓練が中止となった。

中部管区警察局広域緊急援助隊合同訓練に対する協力内容は、下記の通りである。

① 期日：令和3年11月25日

② 場所：三重県津市雲出鋼管町 公益財団法人三重県下水道公社雲出川左岸浄化センター敷地内

③ 訓練想定

南海トラフを震源とする地震が発生し、三重県内で震度7の揺れを観測、この地震による揺れや地盤の液状化により、多くの建物が倒壊したほか、大津波の来襲等により県南部の沿岸域を中心に甚大な津波被害が発生を想定した。

④ 全信工による協力内容

信号機滅灯対策訓練のため、模擬信号機を設置した。

また、仮設信号機に対する給電方法として、リチウム電池、LP(プロパンガス)を使用した可搬型発電機及びプラグインハイブリッド車(PHV)を提案し、その訓練を実施した。

エ 信号制御機等の供給不足等による信号工事への影響に関する調査

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行による半導体等の供給不足が報じられ、当協会の会員から、信号工事の入札への不参加や信号制御機等の納入遅延等の情報が寄せられた。そこで、本年2月、当協会の会員にアンケートを実施し、信号制御機等の不足による信号工事への影響と対応状況についての情報を収集した。